



身延山久遠寺菩提樹にて(写真撮影:佐伯泰英事務所)

黄門さまの心境は？

佐伯通信

2015年4月(平成27)
第26号
発行
佐伯泰英事務所
担当/光文社
禁・無断転載

新作『光圀』の主人公は言わずと知れた水戸光圀、ご老公様だ。江戸時代の超有名人を主役に据えた小説など私の守備範囲ではない。時代小説に転じた頃のことだ。図書館に資料漁りに行き、この中実に出合った。六十七歳の光圀が將軍綱吉

と正直驚いた。だが、実在の人物を小説にする技など全く持ち合わせていない。ただ、出版界に生き残らんがために文庫書下ろし時代小説を書き続ける日々が十年余過ぎ去った。新潮文庫百周年の注文を受けたとき、この事件を私

に呼ばれて出府した折、水戸家藩邸で能を催した。その舞台の最中、大老藤井紋太夫を「狸々」を演じ終わった直後に光圀が手打ちにしたという。「これはなんだ？」

佐伯泰英 / 近刊のお知らせ

8月 4日発売予定	7月 17日発売予定	5月 28日発売予定	1日発売予定
--------------	---------------	---------------	--------

「ハルキ文庫」
鎌倉河岸捕物控 26

「新潮文庫」
新・古着屋総兵衛 10

「異国の陰」
〔初版の初回出荷分のみ狭み込み〕

「双葉文庫」
居眠り磐音 江戸双紙 49

「刺客ノ峡(仮)」

「文春文庫」
新・酔いどれ小籐次 3

「桜吹雪(仮)」

新装改訂版 『完本 密命』 全26冊を続々再刊行! 《祥伝社文庫》

4月9日 発売予定	『巻之三 残月無想斬り』	6月12日 発売予定	『巻之四 刺客斬月剣』
--------------	--------------	---------------	-------------

犬派も猫派も

光文社 文庫編集部
「吉原裏同心」「夏目影二郎始末旅」担当 **松岡 俊**



吉原裏同心シリーズ最新作『夢幻』をお読みいただきまして、ありがとうございます。『夢幻』では、神守幹次郎・汀女夫妻の「柘榴の家」での新生活が始まったところですが、そこで問題です。「柘榴の家」の最初の住人は？ 答えは猫の黒介です。幹次郎が引越す直前に柘榴の家を見に行った際、すでにいた猫でした。では、準レギュラーで登場する犬の名は？ 答えは、吉原会所で飼われている犬遠助です。吉原に来て仇討で討たれた浪人の飼いで、飼い主が討たれた後に会所で引き取ることとなりました。

佐伯作品には、よく犬や猫などの動物が登場します。居眠り磐音シリーズには道場で飼っている犬白山が、鎌倉河岸シリーズには九代目宗五郎一家の飼ひ猫菊小僧が、交代寄合シリーズにもドン・ファンという高島玲奈の愛犬と上海から連れ帰った犬クロが、新・酔いどれ小籐次にも駿太郎の愛犬クロスケが、密命シリーズにも犬の力丸が、夏目影二郎始末旅シリーズにも影二郎の相棒の犬あかが登場します。また、新・古着屋総兵衛シリーズには、大黒屋の飼ひ猫のひなと甲斐犬さくら、甲斐、信玄の犬猫両方が登場します。

さて、作者である佐伯先生ご自身は犬派か猫派か？ 答えは犬派でした。いま飼っている犬は、佐伯家の三代目愛犬みかんちゃんです。

ただし佐伯先生によると、「じつは猫は飼ったことがないんだよ。飼ったらやっぱり可愛いだろうねえ」とのこと。いずれにしろ、動物たちも、佐伯作品を盛り立てる大事な要素なんですね。

近刊・作品情報はこちらでもチェックできます。
<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト 検索

2015年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと発行いたします。
光文社、(株)新潮社、(株)文藝春秋、(株)講談社、(株)角川春樹事務所、(株)双葉社

なりにかたちに出来ないかと思ひ、『古着屋総兵衛』シリーズの初巻として挑戦してみることにした。「月刊佐伯」と呼ばれた毎月刊行続行の合間にこの小説を書いた。一年半以上も前のことだ。

隠居の光圀がなぜ死を前にした折に大事に及んだか、七十歳を過ぎて光圀の心境がなんとなく理解がつく気がした。この小説を書かせた動機だ。人はだれもが死ぬ。亡くなった後も生者の営みは続く。やり残したこ

出版社からのお知らせ
新潮文庫 百年
特別書下ろし作品
古着屋総兵衛初巻
表の顔は古着問屋裏の顔は陰の旗本。永遠のヒーロー六代目総兵衛勝頼が帰ってきました。父親に連れられて、光圀自慢の巨船を見た十五歳、生意気盛りの勝頼は、「無駄なもので飾り立てた船と言いつつ、お公激怒……」本作は、影始末シリーズの第一巻の前、つまり第一巻巻にあたる作品。新旧両シリーズの格好の入口となる一冊です。抽選で百名様と「特製双葉扇」プレゼント実施中！ 詳しくは帯をご覧ください。